

専門教育科目	第Ⅰ選択	振動波動学	3③④	2	○			1						
		特別講義Ⅰ(精密)	4①②	2	○			1						
		特別講義Ⅱ	4①②	2	○			1						
		特別講義Ⅲ	4①②	2	○			1						
		特別講義Ⅳ	4①②	2	○			1						
	第Ⅱ選択	総合科目Ⅰ	4①	1	○									兼9
総合科目Ⅱ		4②	1	○			10	10	1	8				
総合科目Ⅴ		4③	1	○		○	1						兼2	
職業指導A		3①②		2	○								兼1	
	職業指導B	3③④		2	○								兼1	
	小計(60科目)	—	29	81	4	—	53	44	4	44	0		兼14	
高度教養教育科目	第Ⅱ選択	総合科目Ⅲ	3①②	2	○			1		1	1			兼3
		総合科目Ⅳ	3③④	2	○			4	3	1	1			兼3
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	5	3	2	2	0		兼6	
合計(443科目)			—	51	739	37	—	62	55	7	48	0	兼1176	
学位又は称号		学士(工学)		学位又は学科の分野			工学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
3 精密科学コース (1) 応用自然科学科に4年以上在学し、以下に示すとおりに全学共通教育科目(高度教養教育科目及び専門基礎教育科目を除く。)から25単位以上、高度教養教育科目から2単位以上、専門基礎教育科目から24単位以上、専門教育科目から81単位以上、高度国際性涵養教育科目から1単位以上、総計133単位以上を修得しなければならない。 (2) 全学共通教育科目について、次に示すとおりに授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。 ① 学問への扉のうちから2単位を修得しなければならない。 ② 基盤教養教育科目 人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目及び総合型科目の中から選択履修し、合計4単位以上を修得しなければならない。 ③ 高度教養教育科目から2単位以上を修得しなければならない。 ④ 情報教育科目から2単位を修得しなければならない。 ⑤ 健康・スポーツ教育科目 「スポーツ実習A」(1単位)のほかに、「スポーツ科学」(1単位)、「健康科学実習A」(1単位)及び「健康科学」(1単位)のうちから1科目を選択履修し、計2単位を修得しなければならない。 ⑥ マルチリンガル教育科目 ア 第1外国語として、英語の授業科目の「総合英語」及び「実践英語」の中から選択履修し、合計8単位以上を修得しなければならない。 イ 第2外国語として、ドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語のうち1外国語を選択履修し、授業科目の中から3単位を修得しなければならない。ただし、外国人留学生にあっては、日本語を選択履修することができる。 ウ グローバル理解の授業科目の中から選択履修し、4単位を修得しなければならない。 ⑦ 専門基礎教育科目 必修科目18単位、選択必修科目2単位以上、選択科目4単位以上、計24単位以上を修得しなければならない。 (3) 専門教育科目について、必修科目から29単位、選択科目から53単位以上(ただし、第Ⅰ選択科目は42単位以上)を含めて、81単位以上及び高度国際性涵養教育科目1単位以上をそれぞれ修得しなければならない。							1学年の学期区分		4期					
							1学期の授業期間		8週					
							1時限の授業時間		90分					

教育課程等の概要（事前伺い）													
（工学部応用自然科学科応用物理学コース）【基礎となる学部】													
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置			備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師		助教
全学共通教育科目	学問への扉	1①②		2				○		4		2	兼553 オムニバス
	人文科学系科目												
基礎教養教育科目	世界の思想	1③④		2				○					兼1
	哲学の基礎A	1①②		2				○					兼1
	哲学の基礎B	1③④		2				○					兼1
	倫理学の基礎	1①②		2				○					兼1
	中国哲学基礎	1①②		2				○					兼1
	インド学の基礎	1①②		2				○					兼1
	美学	1③④		2				○					兼1
	文芸学	1③④		2				○					兼1
	音楽学	1③④		2				○					兼1
	演劇学	1③④		2				○					兼2
	東洋美術史	1①②		2				○					兼1
	西洋美術史	2①②		2				○					兼1
	芸術の実践	1①②		2				○					兼1
	芸術の場所	1③④		2				○					兼1
	芸術の世界	1①②		2				○					兼1
	芸術の歴史	1①②		2				○					兼1
	日本文学研究入門	1①②		2				○					兼1
	日本文学の名作を読む	1③④		2				○					兼1
	日本の文学A	1③④		2				○					兼1
	日本の文学B	1③④		2				○					兼1
	日本の文学C	1①②		2				○					兼1
	日本の文学D	1①②		2				○					兼1
	比較文学入門	1①②		2				○					兼1
	中国語圏の文学A	1①②		2				○					兼1
	中国語圏の文学B	1③④		2				○					兼1
	中国古典入門	1③④		2				○					兼1
	中国の文学	1③④		2				○					兼1
	英米文学入門	1③④		2				○					兼1
	ドイツの文化・芸術	1③④		2				○					兼1
	フランス文学入門	1①②		2				○					兼1
	外国の文学を知る	1①②		2				○					兼1
	西洋の文学	1①②		2				○					兼1
	教養としての日本語	1①②		2				○					兼1
	教養としての日本語	1③④		2				○					兼2
	日本語学基礎	1①②		2				○					兼1
	国語学の世界	1③④		2				○					兼1
	国語学入門	1①②		2				○					兼1
	英語学の基礎A	1③④		2				○					兼1
	英語学の基礎B	1③④		2				○					兼1
	英語学の基礎C	1①②		2				○					兼1
	英語学の基礎D	1③④		2				○					兼1
	世界史の考え方	1①②		2				○					兼4
	世界史の考え方	1③④		2				○					兼2
	歴史学の考え方	1③④		2				○					兼1
	グローバル日本史	1③④		2				○					兼1
	日本史の考え方	1①②		2				○					兼2
	日本史の話題	1①②		2				○					兼1
	日本史の話題	1③④		2				○					兼1
	アジア史学基礎A	1①②		2				○					兼1
	アジア史学基礎B	1③④		2				○					兼1
	西洋史学基礎A	1①②		2				○					兼1
	西洋史学基礎B	1①②		2				○					兼1
	考古学基礎	1①②		2				○					兼1
	日本学基礎	1①②		2				○					兼1
	マイノリティを読む	1③		2				○					兼1
	現代の差別を考える	1③④		2				○					兼1
	日本学の最前線	1③④		2				○					兼1
	ことばの学問入門	1①②		2				○					兼1
	アジアの文化と社会を知るA	1①②		2				○					兼1
	アジアの文化と社会を知るB	1③④		2				○					兼1
	アジアの文化と社会を知るC	1③④		2				○					兼1
	アジアの文化と社会を知るD	1③④		2				○					兼1
	アジアの文化と社会を知るE	1③④		2				○					兼1
	アジアの文化と社会を知るF	1③④		2				○					兼1
	アジア言語文化研究入門A	1③④		2				○					兼1
	アジア言語文化研究入門B	1③④		2				○					兼1
	アフリカの文化と社会を知る	1①②		2				○					兼1
	アフリカ言語文化研究入門	1③④		2				○					兼1
	ユーラシアの文化と社会を知るA	1①②		2				○					兼1
	ユーラシアの文化と社会を知るB	1③④		2				○					兼1
	欧米の言語文化の考え方	1①②		2				○					兼1
	欧米の政治・経済事情	1①②		2				○					兼1
	欧米の文化と社会を知るA	1①②		2				○					兼1
	欧米の文化と社会を知るB	1①②		2				○					兼1

